



(公社) 兵庫県建築士会 姫路支部

支部だより

7月号

姫路支部会員紹介

渡邊建築設計事務所

渡邊 一洋

今月は渡邊 一洋さんに「まちづくり」をテーマに、独立後の半生をお話いただきました。

大学時代、“ポートピア ‘81” が始まり、都市計画の企画・開発が進む傍らで、未来都市を夢見ていました。

大学卒業後、姫路の設計事務所（小野設計）に10年勤務。平成4年（1992年）に、渡邊建築設計事務所として独立してはや32年、個人住宅から公共建築まで多岐に渡りお仕事をさせていただき、現在に至ります。

今回の会員紹介の内容について、支部長より建築士会での「まちづくり」活動やNPO法人での活動などまちづくりや地域でのまちおこし活動について書いてほしいとの依頼があり、ちょっと変わった私の独立後の半生をご紹介します。

私が「まちづくり」に携わるようになったのは、独立して間もないころ、出身大学の先輩方から、建築士会で新たに発足した「まちづくり委員会」に勧誘されたのがきっかけでした。何も分からないまま二つ返事をしましたが・・・、「まずは、建築士会に入会してね!」ということで、建築士会の会員となりました。

発足当初のまちづくり委員会の活動は、ドーナツ化現象が進む神戸の下町の過疎化対策等、神戸が活動の中心でした。神戸の地域事情に勿論詳しくない中、神戸市内の地域協議会の活動にも参加しました。まずは“地域の川の清掃活動”といった地域活動等、建築とは少し離れた目線がとても新鮮に感じられました。

建築士会のまちづくり委員会の発足のベースとなったのが「いきいき推進下町協議会」で神戸市と神戸大学を中心に神戸の下町の魅力発信、活性化、循環継続を目指して今でも幅広い活動を行っていました。

おかげさまで「いきいき下町新聞」は1992年の発刊依頼、今年2024年に35号の発刊となり、今でも神戸で様々な活動をしています。

1992年の事務所開設以降、諸先輩方に引っ張られ、「まちづくり」に引き込まれていった訳ですが、このことが、その後の私の半生に大きな影響を与えるとはこの時は、想像もしていませんでした。



2007.07.23 神戸新聞掲載より



まちづくり委員会で活動を始めたころは＜住民参加のまちづくり＞＜集い＞といった言葉が主流でした。「ワークショップの勉強」・「いえなみ提案」・「市民サロン」・「古民家」といった小委員会ができ、平成6年3月には、彦根、長浜に赴き、町並みや景観について学びました。また、私は「古民家再生倶楽部」という小委員会にも属し、神戸市北区での茅葺き民家の改修計画のミニコンペにも応募し、入賞した喜びを感じたことを思い出します。

その様な神戸の地域課題とまちづくり活動を肌で感じ実践しながら、「きっともうすぐ、姫路にも同じ課題が生じる筈！私の出番！？」と、今か今かと・・・手ぐすねを引いて待っておりました。



【出張まちづくり委員会】

福井県小浜市 まち歩き2014年2月



【出前まちづくり委員会】

兵庫県 新温泉町・浜坂まち歩き2018年11月

しかしながら、平成7年（1995年）1月17日に、阪神・淡路大震災が発生。神戸のまちづくりは一気に様変わりをしました。復興が優先される神戸でのまちづくり活動が縮小されるタイミングで、地元姫路を見つめ直すことに・・・

震災後、間もなく地元出身中学校の学年の同窓会のお世話役に。そのことがきっかけで、地元出身の小学校のPTA会長の役に白羽の矢が・・・

「いや！いや！そんな人のお世話ができる様な・・・」と断っていたが、ふと神戸でのまちづくり活動を思い出し、“地域ボランティアの役員さんと交流をもつことは、“まちづくりの原点”に触れることでは、と考え直し受諾することになりました。そして、一つの役が終われば、次から次へと関連のボランティア団体の役員を受ける羽目となり・・・

しかしそのことも、全て前向きに捉え、困っている地域課題に一つ一つ取り組み、解決していけるのでは！と。。。以下いろいろな活動に携わってきました。



1995年1月17日 阪神淡路大震災
六甲道駅方面を撮影

- | | |
|-------------|--|
| 1997年～2004年 | 「東小学校 創立百周年記念」企画等、姫路市連合PTA協議会会長(2004年) |
| 2006年～2017年 | 東校区「市川さくら祭り」企画・主催 |
| 2005年～現在 | ひめじベトナム人支援者懇話会 代表 |
| | 「日本語・多言語スピーチコンテスト」企画・主催 |
| 2009年～2017年 | 姫路市社会福祉協議会東校区 支部長 |
| 2011年～現在 | 空いた園舎を活用した『地域社会福祉』の拠点づくり事業企画スタート |



ベトナム支援はもとより、多文化共生社会の実現の一環として、日本語スピーチコンテストも今では姫路市教育委員会の共催となり18回を数えました。



市川さくら祭りも恒例行事になり、桜並木を背景にバンドやコーラスグループの晴れやかな発表の舞台となっています。

建築士会の話しに戻り、まちづくり委員会では、2019年～2023年まで委員長をさせていただき、近畿そして全国のまちづくりに携わる建築士会の皆様と一緒に活動をさせていただきました。

平成16年に兵庫県ヘリテージマネージャー（第3期生）を受講し、その年に、中・西播磨地域内に存在する歴史的・社会的資産の有効な活用を目指して、「NPO法人ひょうごヘリテージ機構ひめじ」を姫路のヘリテージマネージャーと共に立ち上げ、以降、龍野市「堀家住宅」実測調査、中西播磨地域古民家分布実態調査、姫路城周辺地区古民家利活用調査などに携わらせていただきました。



2005年（平成17年）

たつの市「堀家住宅」実態調査の様子

【調査員】

* 神戸大学助教授（当時）黒田龍二

* NPO法人ひょうごヘリテージ機構ひめじ

* 他の兵庫県ヘリテージマネージャー

延218名が関わった。



2019年（平成31年）11月

たつの市 国重要文化財「堀家住宅」

年一回の公開に向けて庭の落ち葉拾い

中央は堀家第12代当主 夫妻

2020年に入ってから、新型コロナウイルスの影響で、コミュニティやまちづくりの考え方も変わってきたように思います。

新型コロナウイルスという見えない敵は、『リモート通信』や『バーチャル世界』の急速な発展により、人と人、人との距離を空け、「住民主体」・「住民参加」・「集う」・「ふれあう」というまちづくりに欠かせない大切なコミュニティが失われつつあります。

一方で、地球温暖化による風水害や洪水被害の増加、迫る南海・東南海地震に対する防災・避難対策において、地域コミュニティ（人と人とのつながり）は大きな意味を持ちます。

兵庫県建築士会は、昨年度より新たに女性会長（全国初）が誕生し、様々な新しい活動を開始しています。

現在まちづくり委員会では下記の6つの部会で活動しています。

- ①【景観まちづくり】 ②【防災まちづくり】 ③【福祉のまちづくり】
④【街中（空き家）まちづくり】 ⑤【歴史のまちづくり】 ⑥【木のまちづくり】

今年度はその中の、【防災まちづくり】と関連して、災害対策委員会が近畿の中でいち早く立ち上がり、委員長を仰せつかりました。来年の1月には阪神淡路大震災から節目となる30年を迎えます。私の大切としてきた『まちづくりは人づくり』の精神を忘れず、ハード面だけでなく、人と人のつながりといったソフト面も大切に諸問題に取り組んでいきたいと思っております。

最後に、8月末に3支部合同で家島研修が開催されるということで、私が基本設計した2010年に竣工の家島の真浦港近くにある「姫路市家島事務所」を紹介させていただきます。

時間があればお立ち寄りください。

了



■施設案内

施設名	電話番号	場所	開庁日時	業務開始日
家島事務所	325-1001	1階	月曜～金曜日（祝休日、年末年始を除く）、8:35～17:20	1/28(月)
水道局施設課 家島分室	325-1007	2階	24時間体制	1/29(火)
飾磨消防署 家島出張所	325-0119		火曜～金曜日（祝休日、年末年始を除く）、9:00～16:30	
わくわく広場い えしま（子育て 支援施設）	325-2641	3階	火曜～日曜日（年末年始を除く）、9:00～21:00	2/1(金)
家島公民館	325-2331		火曜～日曜日（毎月第3木曜日、祝休日、年末年始、春期資料手入期間を除く）、10:00～18:00 ※月曜日または土曜日が祝日と重なる場合は開館。うち月曜日が祝日と重なる場合は火曜日が休館	
図書館 家島分館	325-2331			

※移転準備のため、わくわく広場いえしまは、1/24(木)・25(金)、家島公民館は1/15(火)～31(木)、図書館家島分館は1/11(金)～31(木)、休館します

家島地域の住民サービスおよび防災の新たな拠点として、複合化を進めていた家島事務所。その工事の完了に伴い、仮設庁舎で業務を行っていた各施設の業務を新事務所へ順次開始します。

23年10月より、家島地域における住民サービスおよび防災拠点として、公民館や図書館、消防施設、子育て支援施設などを含めた複合施設へと複合化改築工事を進めていた家島事務所。その工事が、昨年12月末に完了し、1月28日(月)から新事務所での業務を開始します。

子どもから高齢者まで、利用者に優しい施設を目指し、多目的トイレを設置するほか、来庁者の皆さんが、座って各

種手続を行えるローカウ
ターの窓口にするなど、安全で利用しやすいバリアフリー
となっています。



家島事務所など新庁舎へ移転

地域の市民サービス拠点として

6月の活動報告

- 6.5 (水) 建築模型作り講座 (ものづくり体験館)
- 6.11 (火) 建築模型作り講座 (ものづくり体験館)
- 6.27 (木) 建築相談 (姫路市役所)
- 6.27 (木) 構造学習会 (オンライン)
- 6.30 (日) 釣り大会 (家島) <延期>

7月の活動予定

- 7.7 (日) 2級建築士学科試験監督派遣
- 7.25 (木) 建築相談 (姫路市役所)
- 7.25 (木) 構造学習会 (オンライン)
- 7.28 (日) 1級建築士学科試験監督派遣

構造学習会2024 第2回開催報告

全国大会 長けおめ大会の開催

6月27日 (木) 開催

2024年度構造学習会の第2回目を6月27日 (木) にZOOMオンラインで行いました。

「荷重と外力 (3つの荷重と2つの外力の解説と計算)」というテーマで兵庫確認検査機構の景山先生に講義いただきました。

荷重はかかる力を求めるときに重要で、短期用か長期用か？躯体での力の流れ方を理解しておく必要がある。

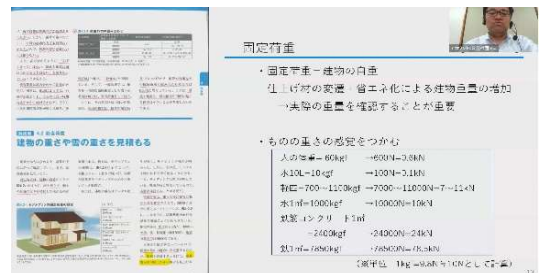
ZOOM講義配信画面

また、外力は係数により大きく異なり、それぞれ係数の持つ意味を理解することと、係数の採用には、調査等に基づき良識ある判断をすべきとの説明がありました。

また最近では構造計算ソフトに頼ることが多く、重量や長さ、比重、応力など単位が疎かになりがちだが、単位や桁の間違いは致命的であるので、各自ミスを起こさない工夫をしていただきたいとのことでした。

Web出席者は46名でした。なお欠席者にはアーカイブで録画が見られるようにしています。

報告者：石原



各事業ご案内

建築子供プログラム **スタッフ募集中**

8月3日 (土)

姫路支部では、毎年市内の小学高学年～中学生を対象に、子供たちに建築の面白さ、ものづくりの楽しさを知っていただくため「建築子供プログラム」を開催しています。

今年は、夏休みの8月3日に「ものづくり体験館」にて、模型作り教室を開催します。今回は40名の児童・生徒を募集します。

子供たちに模型作りを指導していただける**スタッフを募集**しています。当日は終了後に打ち上げも予定しています。

手伝いいただける方は事務局までお問い合わせください。

記

日時： 8月3日 (土) 8時45分 (集合) 12時45分 (解散)

場所： 兵庫県立ものづくり体験館 (姫路市市之郷1001-1)

申し込み方法：姫路支部ホームページをご覧ください。



事業担当：小西

各事業ご案内

3支部合同・家島を巡る見学研修ツアー

新企画

8月31日(土)

西播3支部、赤穂、龍野、姫路支部が合同事業として、3支部が面する播磨灘に浮かぶ家島を巡る見学研修会を企画しました。

家島諸島は様々な地質でできています。本土からも良く見える大きな採石場のある男鹿島は花崗岩からできており、家島本島は丹波帯の堆積岩が広く分布し、坊勢島は溶結凝灰岩が見られます。海流で現れた地層や流理も多く見られ、家島諸島は播磨地方の地質や地形を学ぶのに適しています。

播磨の地質に詳しい専門家の案内のもと、家島の島々を周遊しながら、本島に上陸して散策しながら、地質や地層を観察します。また家島神社や坊勢島の恵美酒神社を訪れ、島の歴史について見聞を深めていただきます。

近日中に案内申し込み書をメールでお送りしますので、この機会に、近くてもなかなか行くことのない家島ツアーにぜひご参加ください。

記

日時： 8月31日(土) 8時 姫路港出航 (9時 赤穂港出航)

場所： 家島、坊勢島

参加費： 4000円(昼食含む)



家島の地質



家島神社

事業担当：石原

各事業ご案内

全国大会(鹿児島大会)見学研修ツアー **残り僅か**

10月25日(金)～27(日)

姫路支部では、毎年全国大会の開催に合わせて、開催地の近郊の有名な建築物を支部メンバーで見学する研修会を企画しています。

今年度は**10月25日から二泊三日**で鹿児島県を訪れます。国宝霧島神社、高崎正治氏設計の輝北天球館をはじめ、鹿児島県内の名建築を巡ります。7月15日が締め切りになっています。

残席わずかですので、申し込みされる方は早めをお願いします。詳しくは姫路支部ホームページをご覧ください。

事業担当：高嶋・和田



国宝 霧島神社



輝北 天球館